

ボーリング柱状図

調査名 都市基盤周船寺川（牛町堰）地質調査業務委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2 (堰中央)		調査位置	福岡市西区大字田尻			北緯	33° 34' 41.2"								
発注機関	福岡市道路下水道局 建設部 河川課			調査期間	平成 24年 12月 22日 ~ 24年 12月 28日			東経	130° 14' 56.6"							
調査業者名	株式会社 ジオテック技術士事務所 電話 (092-476-1700)		主任技師	木寺 将仁		照査者	香月 裕宣		コ鑑定者	木寺 将仁		ボーリング責任者	長谷川 安夫			
孔口標高	5.95m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 10°		使用機種	YBM-05		ハンマー落下用具	半自動法	
総掘進長	21.00m	度	0°		向			試験機	エンジン		NFD-8		ポンプ	YBM SP-30		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (月/日)	掘進 (月/日)					
											深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20				
1					盛土・礫混り砂質土	暗褐			砂は粒径不均一で細～中砂主体。全般に細粒分を多含する。小径礫を少量混入。	12/25 2.00	1.15	1	1	1	3	30										
2	3.95	2.00	2.00		礫質砂	褐灰～淡灰			砂は粒径不均一で粗砂主体。細粒分はほとんど含有しない。φ2～20mm大(φmax50mm)の硬質な花崗岩、石英等の亜円礫を多量混入。部分的に砂礫状を呈す。	12/27 12.50	2.15	1	2	2	5	30										
3	2.45	1.50	3.50		礫混り砂	淡灰			砂は粒径不均一で中～粗砂主体。φ2～10mm大の硬質な花崗岩、片岩、石英等の亜円礫を少量混入。	12/27 12.50	2.45	6	7	8	21	30										
4	1.75	0.70	4.20		砂質シルト	暗灰			粘性小・含水大。微細砂を多く混入。雲母片を少量混入。	12/27 12.50	3.15	6	7	8	21	30										
5	1.15	0.60	4.80		砂	暗灰			砂は細砂。シルト分を少量含有。	12/27 12.50	3.45	2	1	1	4	30										
6	0.65	0.50	5.30		砂	暗灰			砂は細砂。シルト分を少量含有。	12/27 12.50	4.15	2	1	1	4	30										
7					砂	淡灰～暗灰			礫は、φ2～30mm大の硬質な片岩、石英等の亜円～亜角礫。マトリクスは、中～粗砂が主体。シルト分を少量含有。所々、礫の混入率が少ない。	12/27 12.50	4.45	6	9	12	27	30										
8	-2.05	2.70	8.00		粘土	黄褐～褐			粘性大・含水小～中位で硬い。全般に微～細砂を少量混入。	12/27 12.50	5.15	6	9	12	27	30										
9	-3.55	1.50	9.50		砂質シルト	暗灰			粘性小・含水中位。微～細砂を多量混入。部分的にシルト質砂状。	12/27 12.50	5.45	9	9	8	26	30										
10	-3.95	0.40	9.90		粘土混り砂	黄褐～褐			不均質な土層。礫はφ2～30mm大の軟質～硬質な片岩、石英等の亜円～亜角礫。マトリクスは粘土分を多含した中～粗砂。所々粘土の薄層を挟在。10mの貫入試料は粘土分を多含。	12/27 12.50	6.15	9	9	8	26	30										
11	-5.65	1.70	11.60		砂混り粘土	褐			粘性大～中位・含水中位でやや硬い。微砂及び雲母片を少量混入。	12/27 12.50	6.45	8	8	8	24	30										
12	-6.45	0.80	12.40		粘土混り砂	黄褐～褐			不均質な土層。礫はφ2～30mm大の軟質～硬質な片岩、石英等の亜円～亜角礫。片岩はクサリ礫が多い。マトリクスは粘土分を少量含有した中～粗砂。所々、礫の混入率が少なく礫混り砂状を呈す。	12/27 12.50	7.15	8	8	8	24	30										
13	-8.60	2.15	14.55		砂混り粘土	褐			粘性大・含水中位でやや硬い。微～細砂を少量混入。	12/27 12.50	7.45	1	2	1	4	30										
14	-9.00	0.40	14.95		礫混り砂	褐			粘性大・含水中位でやや硬い。中砂主体。シルト分を少量含有。小礫点在。含水やや多い。	12/27 12.50	8.15	1	2	1	4	30										
15	-9.55	0.55	15.50		強風化花崗岩	淡褐			原岩組織を明瞭に留める。風化作用が著しく進行し砂質土化。長石類は白濁化。土棒状コアとして採取されるが指圧で容易に潰れる。潰すとシルト混り中砂～粗砂状を呈す。	12/27 12.50	8.45	3	4	5	12	30										
16					風化花崗岩	褐～淡褐			N値50回以上で軟岩状を呈す。全般に岩深部まで風化が進行し軟質化している。土棒状コアとして採取されるが、指圧で容易に砕け粗砂～細礫状を呈す。	12/27 12.50	8.80	3	4	5	12	30										
17										12/27 12.50	9.15	3	4	5	12	30										
18	-12.05	2.50	18.00							12/27 12.50	9.45	10	34	6	50	21										
19										12/27 12.50	10.15	10	34	6	50	21										
20										12/27 12.50	10.36	7	7	5	19	30										
21	-15.05	3.00	21.00							12/27 12.50	11.15	7	7	5	19	30										
22										12/27 12.50	11.45	7	8	10	25	30										
23										12/27 12.50	12.15	7	8	10	25	30										
24										12/27 12.50	12.45	15	16	16	47	30										
										12/27 12.50	13.15	15	16	16	47	30										
										12/27 12.50	13.45	12	13	15	40	30										
										12/27 12.50	14.15	12	13	15	40	30										
										12/27 12.50	14.45	15	8	6	29	30										
										12/27 12.50	15.15	15	8	6	29	30										
										12/27 12.50	15.45	9	9	10	28	30										
										12/27 12.50	16.15	9	9	10	28	30										
										12/27 12.50	16.45	8	12	19	39	30										
										12/27 12.50	17.15	8	12	19	39	30										
										12/27 12.50	17.45	12	18	20	50	29										
										12/27 12.50	18.15	12	18	20	50	29										
										12/27 12.50	18.44	15	23	12	50	24										
										12/27 12.50	19.15	15	23	12	50	24										
										12/27 12.50	19.39	21	29		50	20										
										12/27 12.50	20.15	21	29		50	20										
										12/27 12.50	20.35	19	31		50	19										
										12/27 12.50	21.15	19	31		50	19										
										12/27 12.50	21.34															

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
 ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。